

今年は御木本幸吉生誕150周年を記念して、市内各地でさまざまなイベントが行われました。

幸吉翁は、昭和29年に96歳でその生涯を閉じましたが、告別式は、実は鳥羽小学校舎で行われました。

その当時の写真が、ミキモト真珠島の真珠博物館に残されています。

今回はその一部しか紹介できませんが、祭壇の設置状況から告別式の様子、出棺に至るまでの写真が残されており、式が盛大に行われていたことが分かります。

**スクープ！御木本幸吉の告別式場は鳥羽小学校だった**

**鳥羽のお宝  
再発見！**



vol.8

教育委員会生涯学習課  
☎ ☎ 1 2 6 8



正面玄関の様子



講堂に設けられた祭壇  
【写真提供：ミキモト真珠島真珠博物館】

写真を見ると、講堂には祭壇が設けられ、献花には、麻生首相の祖父で当時の首相であった吉田茂氏の名前もあります。

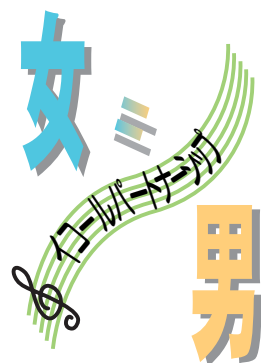
どうして鳥羽小学校で告別式を行ったのか。理由は二つ挙げられると思います。

一つは、鳥羽小学校建設時

に、幸吉翁は2万円を寄付していることから、この建物に思い入れを持っていたこと。

もう一つは、鳥羽小学校舎は現在のようなただの学校としてだけでなく、地域のコミュニティ施設としての用途も兼ねて建てられたということです。その証拠に、講堂には入り口が二つあり、市民が裏からでも入れるようになっていています。

鳥羽小学校舎の保存については、さまざまな意見がありますが、あの校舎をただの老朽化した小学校の建物とみるのは誤りです。鳥羽の誇る偉人、幸吉翁ゆかりの建物であり、昭和の鳥羽の歴史を語る上で、欠かせない建物といえます。



**みえチャレンジプラザ**

vol.94

市民課人権・生活係  
☎ ☎ 1 1 2 6

県では、「みえチャレンジプラザ」を開設し、自分のこれからの未来について考えることを支援しています。

そこでは、女性や高齢者からの仕事や地域活動・ボランティア活動などへの相談を受け付けています。

また、「マザーズサロンみえ（ハローワーク）」との連携により職業紹介も受けられます。その際、託児サービスもあり、子ども連れでも安心です。

いかにして自分の人生を自分らしく生きるかということが求められている中、企業側も個々の能力を生かしつつ、その人の働きたいという気持ちを大切にしていこうという動きがあります。

そういった雇用の変化から、キャリアアップを求めるかたへのキャリアアカウンセリングも実施しています。直接足を

運ぶことができないかたには、電話相談も受け付けています。

チャレンジには、今まで培ってきたものを生かす団塊の世代のチャレンジ、フリーターやニートの正規職員採用といったチャレンジ、離職した女性のチャレンジなど、さまざまなものがあると思います。

自分自身の生きがいを見つけてる手助けとして、「みえチャレンジプラザ」を、ぜひ活用ください。

**【みえチャレンジプラザ】**  
所在地 〒510-0067 四日市市浜田町4-20  
J A 三重四日市ビル6階  
☎ 059-356-0239  
☎ 059-356-3955  
受付時間 平日の午前8時30分～午後7時（土曜日は午前10時～午後5時）  
休業日 日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）